

2-1 作業標準書

区分	手 順	急 所	危険有害要因	危険有害要因防止
準備作業	1、作業前の点検。	1、移動通路の障害物。 2、商品は全て開封されているか。	1、商品、工具搬入に蹴躓く。	1、移動経路全ての障害物を取り除く。特に落差は全て。
	2、工事場所の確認。	1、図面等で確認。		
	3、工事場所の数量確認	1、計算をしてください。		
	4、工具と付属品の確認。			
	5、工具のエア-と電気の確認。	1、ホースの腐れと接合不備。 2、電線の腐れ、欠けと接触不良。	1、圧力をかけるとホースが切れてホースが暴れコックの金具で室内を傷つけたり、怪我をする。 2、感電とか火災を起こす原因になる。	1、ホースの取替え、又再度接合部のやり直し。 2、欠け部分は切断して、再度接合する。 3、接触部分は再度接合する。
本作業	1、部屋内の清掃	1、ホコリや異物を除去してください。 2、この時に下地の乾燥度をチェックしてください。		
	2、部屋内貼り始め箇所を決める。	1、部屋内のセンターを出し、基準線を引く。 2、廊下等周辺の割付を考慮し、基準線を平行移動して、貼り出しの墨出しを行なう。 3、必ず、材の長さ、幅を考慮して割付を行なう。	1、天然材なので、貼り始める前に並べて色、柄の確認をしてバランスをとって施工してください。	

本 作 業	3、貼り始め	<ul style="list-style-type: none"> 1、基準線に合わせて材の幅、長さをカットする。 2、壁際からは5～10mm 位の間隙を空けてください。 3、オザネを手前に施工してください。 4、接着剤を使用の場合は、片面のみに使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、長さのカットをする場合には十二分に材を固定するか、パネルソーを使用してください。 2、無垢材なので湿気で収縮いたしません。 3、接着面上には重しを置いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、材が軽いのでカット時に材が飛ばないように固定する。
	4、2列目以降の施工。	<ul style="list-style-type: none"> 1、2枚目を取り付け時に無理に押し込まないようにしてください。 2、オザネを痛めないように当て木を使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、1枚目の壁面にクサビを取り付けて置いてください。 2、レンガ貼りにしてください。 3、当て木はぐらつかないようにしっかりと固定してください。 	
	5、貼り終わり。	<ul style="list-style-type: none"> 1、壁際からは5～10mm 位の間隙を空けてください。 2、最終釘が打てない場合は接着剤を併用してください。 3、端部が幅木等で隠れる場合は天端から釘を打ってください。 4、ホコリや異物等を除去してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、接着面上には重しを置いてください。 2、クサビの取り外しは1日後、最終にしてください。 	
後 始 末 工 事	1、養生	<ul style="list-style-type: none"> 1、養生シートを敷き、床用養生テープで止めその上にダンボールや合板を敷いて養生してください。 2、施工後は十分な換気を行なってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、養生テープは接着が弱い青を使用してください。 2、高温多湿の状態ですと長時間放置しますと、突き上げが生じる恐れがありますので、ご注意ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 1、接着が強いとフローリングの仕上げ塗装を剥がす恐れがあります。 2、養生テープは一度フローリングに貼ってテストしてください。